SONY

3-253-604-**03**(1)

ポータブル CDプレーヤー

取扱説明書／Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　WALKMAN　Atrac3plus

“ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

D-NE1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~9ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ **電源を切る。**

❷ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**

❸ **お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと火災・感電、または大けがの原因となります。

運転、歩行中の使用について



- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ないでください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお聞きになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない。指定以外のACパワーアダプター、カーバッテリーコードを使わない。



- 国内専用機器(=ワールドモデル以外)に付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vでお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因になります。

⚠警告

火災　感電

**下記の注意を守らないと火災・感電、
または大けがの原因となります。**

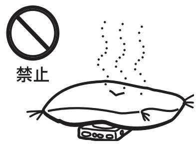
ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。



絶対に分解しない。

レーザー搭載機の場合、レーザー光が目に当たると危険です。



次のページにつづく

⚠注意

下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

禁止



- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

はじめからボリュームを上げすぎない。

禁止

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプター、充電中の電池や製品に長時間触れない。

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、7～9ページの注意事項を必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間ACパワーアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド
（Ni-Cd）

ニッケル水素
（Ni-MH）

リチウムイオン
（Li-ion）

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

⚠危険 充電スタンドを付属している場合

充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。
  電池を飲み込んだとき
  窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、ACパワーアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠警告 外付け乾電池ケースを付属している場合

- 外付け乾電池ケースも乾電池と同様に、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

こんなことができます!

パソコンでオリジナルCDを作ってみよう

下記のように、オリジナルのATRAC CDを簡単に作ることができます。

ステップ 1 インストール

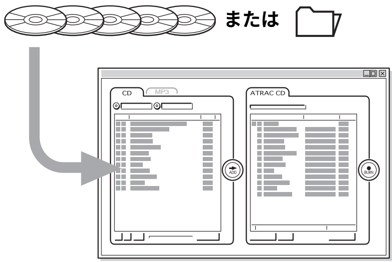
パソコンに本機に付属のソフトウェア「SonicStage Simple Burner」をインストールする。



ステップ 2 書き込む

インストールしたソフトウェアを使ってCD-R/RWに書き込む。

オーディオCD　　**MP3ファイル**



「SonicStage Simple Burner」を使ってATRAC3plus/ATRAC3フォーマットに変換されます。

「SonicStage Simple Burner」を使うには

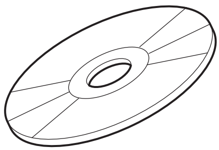
本機に付属の「SonicStage Simple Burner」の説明書をご覧ください。

ATRAC CDについて

ATRAC3plus/ATRAC3フォーマットで圧縮録音した音楽データが入ったCD-R/RWのこと。オーディオCD約30枚分の楽曲が1枚のCD-R/RWに録音できます。*
MP3ファイルもATRAC3plus/ATRAC3フォーマットに変換して録音できます。

* ATRAC3plus、48kbpsで700MBのCD-R/RWに一枚あたり約60分のCDを録音した場合

ATRAC CD



ステップ 3
聞く

ATRAC CDウォークマンで聞く。



お手持ちのオーディオCDを楽しむこともできます。

ATRAC3plus/ATRAC3*フォーマットについて

12～14ページをご覧ください。

* ATRAC3plusとATRAC3はソニー株式会社の商標です。

本機で使用可能なデータの種類について

本機では、以下の3種類のソースの再生が可能です。

- オーディオCD
- ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/ATRAC3（アトラックスリー）フォーマットのファイル
- MP3形式のファイル

使用できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2フォーマットとJoliet拡張フォーマットのみになります。

ATRAC3plus/ATRAC3について

「ATRAC3plus（アトラックスリープラス）」は「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、「ATRAC3」をさらに発展させたオーディオ圧縮技術です。高音質と高圧縮を両立させ、音声データをCDの約20分の1に圧縮することが可能となります。ご使用いただけるビットレートは、64 kbps/48 kbpsとなります。

「ATRAC3（アトラックスリー）」は、「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約10分の1に圧縮できるため、メディア容量の小型化が可能となります。ご使用いただけるビットレートは、132 kbps/105 kbps/66 kbpsとなります。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：255
- 最大ファイル数：999

詳しくは本機に付属の「SonicStage Simple Burner」の説明書をご覧ください。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

ATRAC3plus/ATRAC3の記録されているディスクには、ATRAC3plus/ATRAC3以外のフォーマットのファイルや不要なグループを書き込まないでください。

MP3について

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音楽圧縮の規格。音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダ／デコーダが存在します。無償で使用できるフリーウェアの存在もあって、コンピューターの世界で広く普及しています。

使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- 最大ディレクトリー階層：8階層
- ファイル/フォルダー名使用可能文字：英数字、記号（半角のみ）、常用漢字、ひらがな、カタカナ

ご注意

- ファイルになまえを付けるときは、「mp3」の拡張子を付けてください。
- MP3ファイルではないファイルに「mp3」の拡張子を付けると、本機はそのファイルを正しく認識することができません。
- ファイル名はID3タグ*に対応していません。
- ファイル名やID3タグに半角カタカナを使うと文字化けすることがあります。

* ID3タグとは、曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットのことです。

使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：100
- 最大ファイル数：400

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

- 本機でサポートするビットレートは、16～320 kbps、サンプリング周波数は、32/44.1/48 kHzで、可変ビットレート(VBR)にも対応しています。
  MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定」を推奨します。
- 最大容量まで記録する場合は、「追記禁止」の設定をしてください。
- 何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、「Disc at Once」の設定をしてください。

次のページにつづく

メディアに書き込むファイルについてのご注意

- MP3の記録されているディスクには、MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダーを書き込まないでください。
- ディスクが挿入されると再生機はディスクに記録されている全フォルダー、全ファイルの情報を読み込みます。ディスクに多くのフォルダーがある場合、演奏開始までに時間がかかったり、次のMP3ファイルの演奏までに時間がかかることがあります。

本セットにおけるATRAC3plus/ATRAC3とMP3との違い

グループとフォルダーについて

ATRAC3plus/ATRAC3は、「グループ」と「ファイル」から成り立つ、非常に簡単な構造になっています。「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので、オーディオCDの「アルバム」に相当します。「グループ」には、ディレクトリー構造という概念はありません。グループの中にグループを作ることはできないようになっています。本機では、MP3のフォルダーをもグループと認識し、ATRAC3plus/ATRAC3、MP3のいずれのフォーマットで作成されたCD-R/RWも同じ操作でご使用いただけるようになっています。

曲目表示について

ATRAC3plus/ATRAC3、MP3とも、ファイル名、アーティスト名、グループ名をリモコンに表示します。MP3はID3タグのバージョン1.1/2.2/2.3に対応しています。

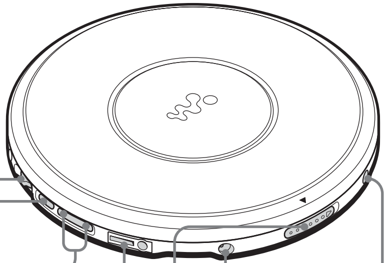
ご注意

- 本機にはCD書き込み機能はありません。
- ATRAC3plus/ATRAC3で書き込みをしたCDは、パソコンのドライブでは再生できません。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては本機で再生できない場合があります。

各部のなまえ

（　）内のページに詳しい説明があります。

本体（表面）



1 ジョグレバー（▶II（演奏/一時停止）•
I◀◀/▶▶I（AMS（エーエムエス）/search（サーチ）））
（19、20、27～29ページ）

2 ■（停止）／CHARGE（チャージ）（充電）
ボタン•CHARGE（チャージ）（充電）ランプ
（20、32、33、35、36ページ）

3 VOL（ボリューム）（音量調節）+*/–ボタン
（20ページ）

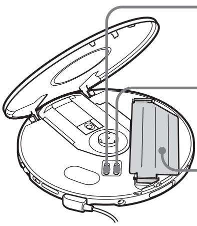
4 🎧（ヘッドホン）ジャック
（19ページ）

5 OPEN（オープン）つまみ（19ページ）

6 充電スタンド用端子
（35、41ページ）

＊ボタンに凸点が付いています。操作の目印としてお使いください。

本体（ふたの中）



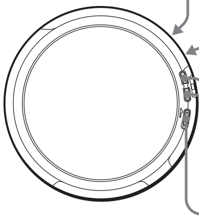
7 AVLS（エーブイエルエス）スイッチ
（32ページ）

8 G-PROTECTION（ジープロテクション）スイッチ
（30ページ）

9 電池入れ
（35、36ページ）

次のページにつづく

本体（裏面）



10 EXT BATT/DC IN 4.5V
（外部電源入力）ジャック
（19、36、38ページ）

11 LINE OUT (OPTICAL)**ジャック**
（34ページ）

12 🗀＋／－**ボタン**
（20、29ページ）

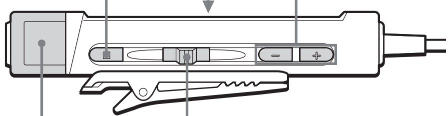
13 HOLD**スイッチ**（32ページ）

リモコン

14 **■（停止）ボタン**
（20、33ページ）

16 **表示窓**
（22、25、28～32ページ）

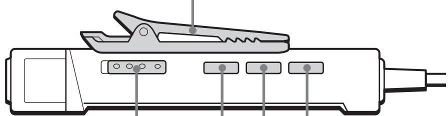
17 🗀＋／－**ボタン**
（20、29ページ）



15 VOL**（音量調節）**
+/–**つまみ**（20ページ）

18 **ジョグレバー（▶II（演奏/一時停止）**•ENT (enter) •
I◀◀/▶▶I (AMS/search)**）**
（20、25、27～29ページ）

19 **クリップ**（17ページ）



20 HOLD**スイッチ**
（32ページ）

21 DISPLAY**ボタン**（22、30、31ページ）

22 SOUND**ボタン**
（31ページ）

23 P (play) MODE/
⟲（繰り返し）ボタン
（25～29、33ページ）

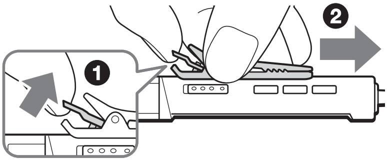
ご注意

付属のリモコンでは、他のCDプレーヤーを操作できないことがあります。

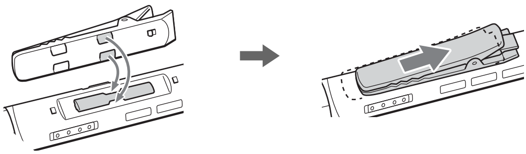
リモコンのクリップの使いかた

リモコンのクリップははずして向きを変えることができます。

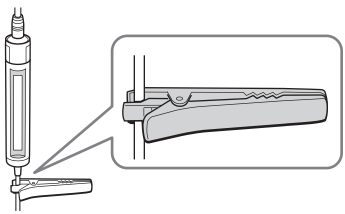
はずすには



左右反対に取り付けるには

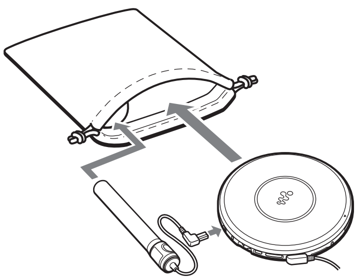


クリップにリモコンのコードを通すこともできます。



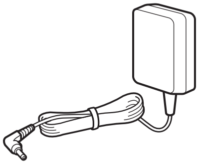
キャリングポーチについて

付属のキャリングポーチを使うと、本体と外付け乾電池ケースが一体で収納でき、持ち運びに便利です。図のように収納することをおすすめします。

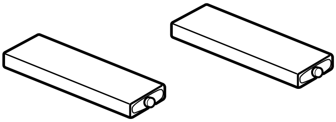


付属品を確かめる

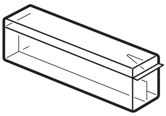
ACパワーアダプター(1)



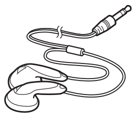
充電式電池(2)



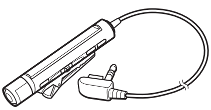
バッテリーキャリングケース(1)



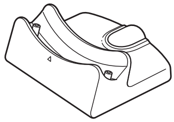
ヘッドホン(1)



リモコン(1)



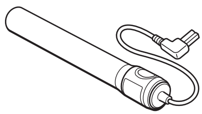
充電スタンド(1)



キャリングポーチ(1)



外付け乾電池ケース(1)



取扱説明書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)
保証書(1)

CD-ROM*（SonicStage Simple Burner）(1)

SonicStage Simple Burnerの取扱説明書(1)

* CD-ROMはオーディオCDプレーヤーで再生しないでください。

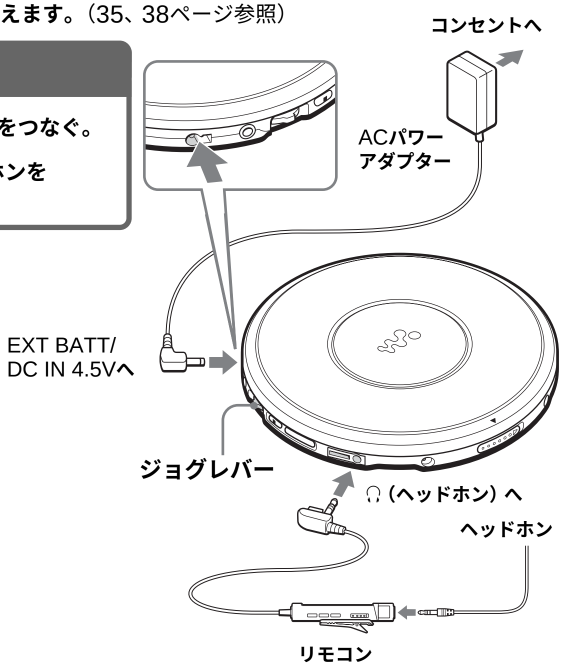
オーディオCD、ATRAC3plus/ ATRAC3やMP3ファイルを聞く

充電式電池や乾電池でも使えます。（35、38ページ参照）

1. つなぐ

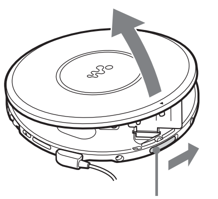
❶ ACパワーアダプターをつなぐ。

❷ リモコン付きヘッドホンをつなぐ。

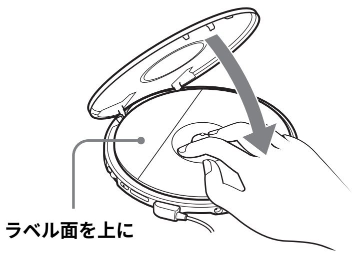


2. CDを入れる

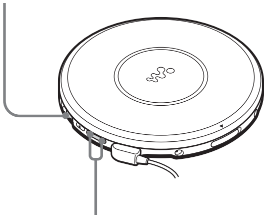
❶ OPENつまみをスライドさせて、ふたを開ける。

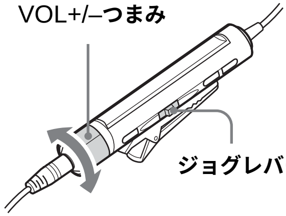


❷ CDを入れ、ふたを閉める。



3. 聞く





❶ ジョグレバーを押す。

❷ VOL+または–ボタンを押して音量を調節する。

❶ ジョグレバーを押す。

❷ VOL+/–つまみを+側または–側に回して音量を調節する。

こんなときは	操作
演奏する（続きから）	ジョグレバーを押す。 前回演奏を止めたところから始まる。
演奏する（1曲目から）	停止中にジョグレバーを演奏が始まるまで押したままにする。
一時停止する/一時停止を解除する	ジョグレバーを押す。
演奏を止める	■（本体は■/CHARGE）を押す。＊2
今聞いている曲の頭出しをする（AMS＊1機能）	ジョグレバーをI◀◀方向へ一度動かす。＊2
前の曲、さらに前の曲の頭出しをする（AMS機能）	ジョグレバーをI◀◀方向へ繰り返し動かす。＊2、＊3
次の曲の頭出しをする（AMS機能）	ジョグレバーを▶▶I方向へ一度動かす。＊2、＊3
さらに先の曲の頭出しをする（AMS機能）	ジョグレバーを▶▶I方向へ繰り返し動かす。＊2、＊3
早戻しする（サーチ機能）	ジョグレバーをI◀◀方向へ動かしたままにする。＊2
早送りする（サーチ機能）	ジョグレバーを▶▶I方向へ動かしたままにする。＊2
グループを送る＊4	🗀＋を繰り返し押す。
グループを戻す＊4	🗀–を繰り返し押す。

＊1 AMSはAutomatic（オートマチック） Music（ミュージック） Sensor（センサー）の略です。曲の頭出しをして選曲する機能です。

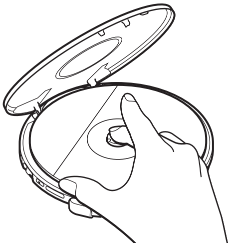
＊2 これらの操作は、演奏中または一時停止中にできます。

＊3 最後の曲でジョグレバーを▶▶I方向へ動かすと、1曲目に戻ります。また1曲目でI◀◀方向へ動かすと最後の曲になります。

＊4 ATRAC CDまたはMP3 CDの演奏中のみ

CDを取り出す

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげます。



CD-R/CD-RWについて

本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

＊ CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

次のページにつづく

リモコンの表示について

音楽CDやATRAC3plus/ATRAC3/MP3ファイルが記録されたCDを演奏すると、リモコンの表示窓に下記のような表示が出ます。

リモコンのDISPLAYボタンを使って演奏中のCDの残り時間と残りの曲数、またはATRAC3plus/ATRAC3/MP3 ファイルを記録したCDの情報を確認することができます（30、31ページ）。

音楽CDを演奏中



CD-TEXT **（文字情報）の入っている**
CD**を演奏中**



ATRAC3plus/ATRAC3/MP3
ファイルが記録されたCD**を演奏中**

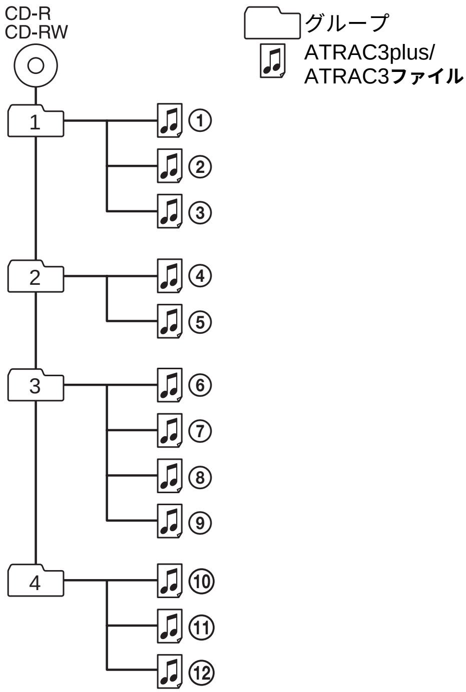


ご注意

- 本機で表示できる文字は、英数字、記号（半角のみ）、常用漢字、ひらがな、カタカナです（半角カタカナは文字化けすることがあります）。
- ファイルを演奏する前に、本機はCDに記録されているファイルとグループまたはフォルダーの全情報を読み込みます。読み込み中は「READING」が表示されます。CDの内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。

ATRAC3plus/ATRAC3のグループとファイル構造と演奏順

グループとファイルの演奏順は次のようになります。



ファイルモード（通常の演奏）	すべてのATRAC3plus/ATRAC3ファイルを①、②、③…⑪、⑫の順に演奏します。
グループモード（P MODE/ボタンでを選ぶ。25ページ参照）	選んだグループのすべてのファイルを演奏します。

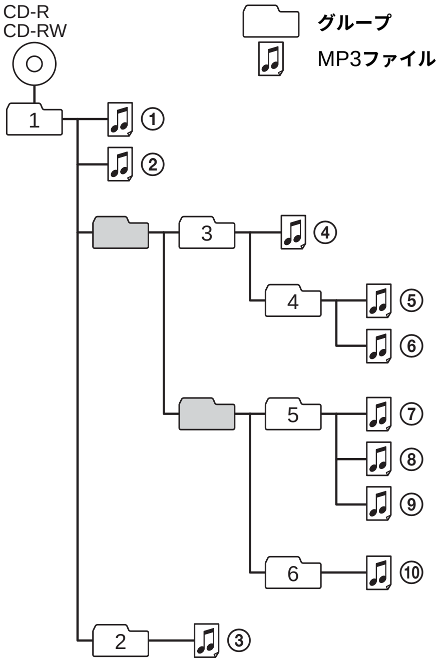
ご注意

- 最大グループ数：255
  最大ファイル数：999
- ATRAC3plus/ATRAC3ファイルが記録されたCDでは、「グループ」は「アルバム」と、「ファイル」は「曲」と同じような意味です。

次のページにつづく

MP3のグループ構造と演奏順

グループとファイルの演奏順は次のようになります。



ファイルモード（通常の演奏）	すべてのMP3ファイルを①、②、③...⑨、⑩の順に演奏します。
グループモード（P MODE/ボタンでを選ぶ。25ページ参照）	選んだグループのすべてのファイルを演奏します。 （例：グループ3を選んだ場合は、ファイル④を演奏します。グループ4を選んだ場合は、ファイル⑤と⑥を演奏します。）

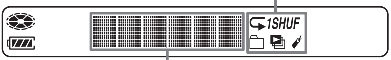
ご注意

- MP3ファイルを含まないグループはとばして演奏します。
- 最大グループ数：100
  最大ファイル数：400
- MP3ファイルが記録されたCDでは、「グループ」は「アルバム」と、「ファイル」は「曲」と同じような意味です。

いろいろな聞きかた

P MODE/⟲ボタンとジョグレバーを使って、いろいろな聞きかたで楽しめます。

演奏モード



CD-TEXT（**文字情報**）**、**
ATRAC3plus/ATRAC3/MP3**ファイルの情報、演奏時間など**

*1 ATRAC CD/MP3 CD再生時のみ
*2 登録されているときのみ
*3 MP3フォーマットで記録されたプレイリスト（m3u)再生時（28ページ）のみ
*4 MP3 CD再生時のみ
*5 演奏中は登録されているときのみ表示が出ます。

ジョグレバー

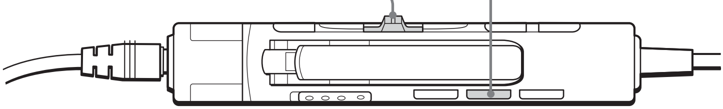
- **押す**
  ブックマークを付けたり、プログラム演奏の設定をするとき曲を決定します。
- **I◀◀/▶▶I方向へ動かす**
  プログラム演奏の設定をするとき、曲を選びます。

P MODE/⟲ボタン

演奏中にP MODE/⟲ボタン押すと、聞きかたを変えることができます。

演奏中に長押しして「⟲」を表示させると、P MODE/⟲ボタンで選んだ聞きかたで、演奏を繰り返すことができます。

→ 通常の演奏
（表示なし）
↓
選んだグループの中の全曲を聞く
（□*1）
↓
1曲だけを聞く
（1）
↓
全曲を順不同に聞く
（SHUF）
↓
選んだグループの中の全曲を順不同に聞く
（□SHUF*1）
↓
ブックマークを付けて聞く（*2）
↓
選んだプレイリスト*3の曲を聞く
（*4）
↓
好きな順に曲を選んで聞く
（PGM*5）



次のページにつづく

全曲を順不同に聞く（シャッフル演奏）

「SHUF（シャッフル）」が表示されるまでP MODE/ボタンを繰り返し押す。

シャッフル演奏ではCDの全曲を順不同に演奏します。

選んだグループの中の全曲を順不同に聞く（グループシャッフル演奏）（ATRAC/MP3ファイルのみ）

「SHUF（シャッフル）」が表示されるまでP MODE/ボタンを繰り返し押す。

グループシャッフル演奏では選ばれたグループの中の全曲を順不同に演奏します。

ブックマークを付けて聞く（ブックマークトラック演奏）

オーディオCDを演奏中

聞きたい曲を1枚のCDにつき最大99曲まで選んで登録して聞けます。

CD10枚まで登録できます。

ATRAC CDを演奏中

聞きたい曲を1枚のCDにつき最大999曲まで選んで登録して聞けます。

CD5枚まで登録ができます。

MP3 CDを演奏中

聞きたい曲を1枚のCDにつき最大400曲まで選んで登録して聞けます。

CD10枚まで登録できます。

ブックマークを付ける

1 ブックマークを付けたい曲の演奏中に、「（ブックマーク）」が点滅するまでジョグレバーを押し続ける。

登録されると「」の点滅がゆっくりになります。

2 手順1を繰り返して好きな曲を登録する。

ブックマークを付けた曲を聞く

1 「」が点滅するまでP MODE/ボタンを繰り返し押す。

2 ジョグレバーを押す。

「」が点灯してブックマークを付けた曲の演奏が始まります。

ブックマークを消す

ブックマークを付けた曲の演奏中に、「」が消えるまでジョグレバーを押し続けます。

ブックマークの付いている曲を確認する

ブックマークの付いている曲の演奏中は、「」がゆっくり点滅しています。

ご注意

- ブックマークトラック演奏では、ブックマークを付けた順番には関係なく、曲番の少ないほうから演奏されます。
- 11枚以上（ATRAC CDの場合、6枚以上）のCDにブックマークを付けようとすると、すでにブックマークの付いているCDのうちで最初に再生したCDのブックマークから消えていきます。
- 電源をすべてはずすと、登録されていたすべてのブックマークが消えます。
- 「Lobatt」が表示されている充電式電池を充電しないまま使っていると、登録されていたすべてのブックマークが消えます。

選んだプレイリストの中の曲を聞く（m3uプレイリスト演奏）（MP3ファイルのみ）

好きなm3uプレイリスト*の中の曲を聞けます。

* m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/RWを作成したときに使用できます。

1 演奏中に「▣」が表示されるまでP MODE/⮌**ボタンを繰り返し押す。**



2 ジョグレバーを▶▶I方向またはI◀◀方向へ動かしてリストを選ぶ。



3 ジョグレバーを押す。



ご注意

m3uプレイリストは、先頭の2つまで扱えます。

好きな順に曲を選んで聞く（プログラム演奏）

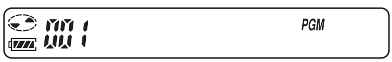
聞きたい曲を好きな順に最大64曲まで選んで聞けます。

1 停止中に DISPLAY**ボタンを押し、表示窓に表示が出ている間に「**PGM（プログラム）**」が表示されるまで**P MODE/⮌**ボタンを繰り返し押す。**

オーディオCD



ATRAC CDまたはMP3 CD



2 ジョグレバーを▶▶I方向またはI◀◀方向へ動かして曲を選ぶ。

ATRAC CD、MP3 CDは🗀＋または－ボタンを押して別のグループの曲を選ぶことができます。

オーディオCD



ATRAC CD**または**MP3 CD



3 ジョグレバーを演奏順がひとつ増えるまで押し続け、曲を決定する。

オーディオCD



ATRAC CD**または**MP3 CD



4 手順2、3を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。

5 演奏を始めるにはジョグレバーを押す。

選んだ曲順を確認する

曲を選んでいるとき：

手順5の操作の前にジョグレバーを繰り返し押します。

停止中：

DISPLAYボタンを押し、表示窓に表示が出ている間に「PGM」が点滅するまでP MODE/⮌ボタンを繰り返し押します。

「PGM」が点滅したらジョグレバーを繰り返し押します。

ジョグレバーを押すたびに、演奏順に曲番が表示されます。

ご注意

- 手順3で64曲を選び終わると、オーディオCDでは「000」ではなく最初に登録した曲番が、ATRAC CD、MP3 CDでは最初に登録したファイル名が表示されます。
- 65曲以上選ぶと、最初に選んだ曲から消えてしまいます。

G-PROTECTION機能

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。

本体のG-PROTECTIONスイッチを「2」に合わせると、「1」に合わせたときよりさらに音飛びに強くなります。

CD本来の高音質で楽しみたいときには、本体のG-PROTECTIONスイッチを「1」に合わせてください。

ふたを開けた本体側にあるG-PROTECTIONスイッチを「1」または「2」に合わせる。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるCDを聞いているとき
- CD-R/RWでは、ディスクの質がよくなかったり、記録に使用したレコーダーの状態に問題がある場合。

オーディオCDの残り時間と残りの曲数を確認する

リモコンのDISPLAYボタンを使って演奏中のCDの残り時間と残りの曲数を確認することができます。

CD-TEXT（文字情報）の入っているCDを再生すると曲名、アルバム名、アーティスト名などが表示されます（(　) 内参照)。

DISPLAYボタンを押す。

ボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

	表示窓の表示
通常の演奏	**曲番と現在の演奏時間（現在の曲名）**
↓ DISPLAYボタンを一度押す	**曲番と曲の残り時間（現在の曲名／アーティスト名）**
↓ DISPLAYボタンをもう一度押す	**残りの曲数*とCDの残り時間*（アーティスト名／アルバム名）**

＊1曲演奏、シャッフル演奏、ブックマークトラック演奏、プログラム演奏をしているときは、表示されません。

ATRAC CD、MP3 CDの情報を確認する

DISPLAYボタンを使ってATRAC CD、MP3 CDの情報を確認することができます。

ID3タグの情報も確認することができます。

DISPLAYボタンを押す。

ボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

	表示窓の表示
通常の演奏	**ファイル番号、ファイル名と現在の演奏時間**
↓ DISPLAYボタンを一度押す	**ファイル番号、アーティスト名／CODEC情報*とファイルの残り時間**
↓ DISPLAYボタンをもう一度押す	**グループ名**

＊可変ビットレート、サンプリング周波数

ご注意

- グループにグループ名がない場合は、「ROOT」と表示されます。
- ファイルにID3タグ情報がない場合は、「- - - - 」と表示されます。

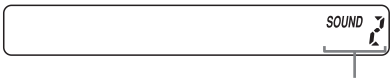
低音を強調する（SOUND機能）

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で演奏を楽しめます。

SOUNDボタンを押す。

SOUNDボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

→ **表示なし（通常の演奏）**
↓
SOUND 1
↓
SOUND 2



選択したSOUNDが表示される

「SOUND 2」のほうが「SOUND 1」より低音が強調されます。

ご注意

音がひずむときは、音量を下げてください。

音もれを抑える
（AVLS機能）

音量の上げすぎによる音もれ、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことによる危険などを少なくするために、音量をある一定以上に上げないようにします。

ふたを開けた本体側にあるAVLS*スイッチを「LIMIT」に合わせる。



音量を一定レベル以上に上げようとすると表示される

AVLS機能を解除する

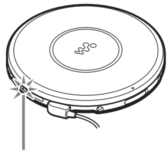
AVLSスイッチを「NORM」に合わせます。

＊AVLSはAutomatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。

誤操作を防ぐ
（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、動作するのを防ぎます。

HOLDスイッチを矢印の方向にスライドさせる。



HOLD機能が働いているときに本体のボタンを押すと、CHARGEランプが点滅する

リモコンと本体の両方でHOLD機能を使うことができます。本体がHOLDになっていてもリモコンをHOLDにしていない場合は、リモコンで操作できます。

HOLD機能を解除する

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせます。

ご注意

HOLD機能が働いていても、リモコンの表示窓に「HOLD」の文字は表示されません。

操作の確認音を止める

ヘッドホンから聞こえる操作確認のためのピッという音を鳴らないようにします。

1 **電源（ACパワーアダプター、充電式電池、乾電池）をはずす。**

2 **■ボタン(本体は■/CHARGEボタン）を押しながら電源をつなぐ。**

再び確認音が鳴るようにする

電源をはずし、■ボタンまたは■/CHARGEボタンを押さずに電源をつなぎます。

表示窓の照明を消す

充電式電池、乾電池の消耗を防ぐためにリモコンの表示窓の照明を消すことができます。

1 **充電式電池および乾電池を取り出す。**

2 **P MODE/⮑ボタンを押しながら、電池を入れる。**

再び照明させる

電池を取り出し、P MODE/⮑ボタンを押さずに電池を入れます。

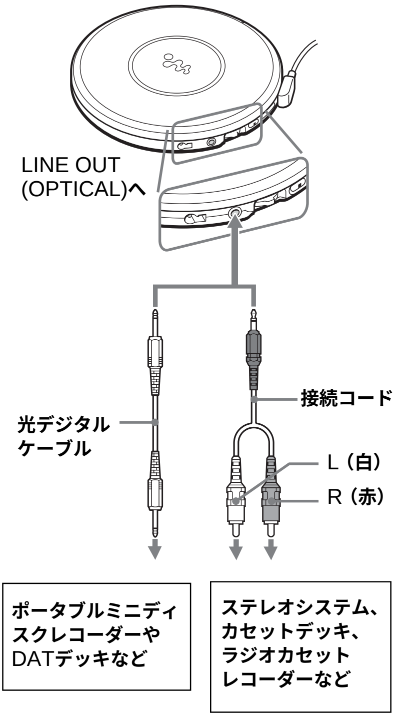
表示窓の照明について

- ACパワーアダプターでお使いの場合、作動中は常に表示窓が照明されます。
- 電池でお使いの場合、本体またはリモコンの操作ボタンを押した後、約5秒間表示窓が照明されます。

ステレオ機器につなぐ

他のステレオ機器でCDを聞いたり、テープやミニディスクに録音できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

接続する機器の電源を必ず切ってから接続してください。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

ご注意

- CDを聞く前に、つないだ機器の音量を下げてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーが破損するおそれがあります。
- 録音するときは、ACパワーアダプターをお使いください。充電式電池や乾電池を使うと録音途中で電池が消耗しきってしまうことがあります。
- 音がひずまないように、つないだ機器側で音量を調節してください。
- 本機のデジタル出力はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に基づいてデジタルーデジタルのコピーを1世代のみに制限しています。作成したATRAC CD、MP3 CDを他のステレオ機器に接続する場合は、アナログ接続コードをご使用ください。

接続コードをお使いの場合

- 本体またはリモコンでヘッドホン出力の音量調節はできません。
- LINE OUT (OPTICAL)ジャックにつないで音がひずむときは、∩ジャックにつないでください。

光デジタルケーブルをお使いの場合

ミニディスク、DATなどへの録音は、本機を一時停止にしてから録音操作を行ってください。

ケーブル使用時のG-PROTECTION機能とSOUND機能について

- CD本来の高音質で録音したいときには、G-PROTECTIONスイッチを「1」に合わせてください。
- SOUND機能は∩ジャックからの出力には働きますが、LINE OUT (OPTICAL)からの出力には働きません。

▶ 電源について

本機で使える電源は、以下のとおりです。

- 充電式電池
- 単3形(LR6)アルカリ乾電池（外付け乾電池ケース）
- ACパワーアダプター（「オーディオCD、ATRAC3plus/ATRAC3やMP3ファイルを聞く」をご覧ください。）

電池の持続時間、充電式電池の充電時間は、「主な仕様」をご覧ください。

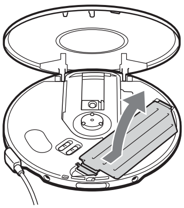
充電式電池で使う

初めてお使いになるときは、充電式電池を充電してください。

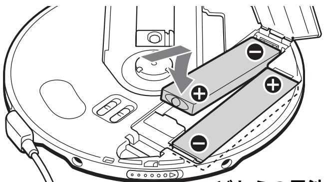
使用できる充電式電池

NH-14WM (A)（付属）

1 **本体のふたを開け、中の電池ぶたを開ける。**



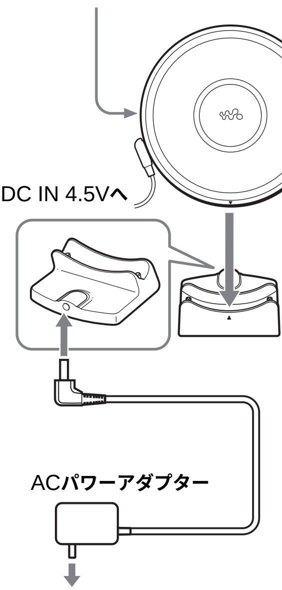
2 **充電式電池を電池入れの⊕の表示に合わせて入れ、「カチッ」と音がするまでふたを閉める。**



どちらの電池も⊖側を先に入れてください。

3 **ACパワーアダプターを充電スタンドにつなぎ、▼と▲を合わせて本体を付属の充電スタンドに置く。**

充電が始まります。リモコン表示窓では「Charging（チャージング）」表示が点滅し、の中の部分が流れるように表示されます。本体のCHARGEランプが点灯します。リモコンの表示とCHARGEランプが消えたら、充電終了です。



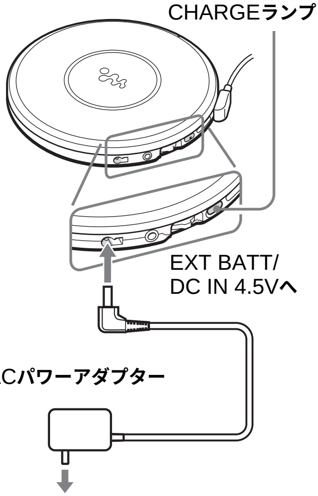
電源について

次のページにつづく

充電スタンドを使わずに充電する

本体に直接ACパワーアダプターをつないで充電することもできます。そのときは、ACパワーアダプターをつないだ状態で、■/CHARGEボタンを押してください。

充電が始まります。

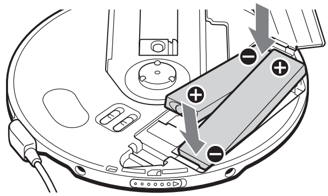


ご注意

- 充電スタンドで充電するときは外付け乾電池ケースをはずしてください。
- 充電中は、本体や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電中にジョグレバーを押すと、充電は止まり、演奏が始まります。
- 演奏中に本体を充電スタンドに置くと、演奏が止まり、充電が始まります。
- 充電スタンドに置くときは、本体の▼と充電スタンドの▲を合わせて正しく置き、CHARGEランプが点灯するのを確認してください。正しく置いていないと充電または再生ができません。

充電式電池を取り出す

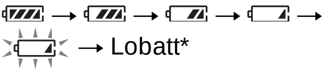
充電式電池の⊖側を押して取り出してください。



残量のめやすを確認する

表示窓で次のように表示が変わり、電池の残量のめやすを確認することができます。

「 」表示が点滅すると電池が消耗しきっています。交換してください。



*「ピー」という音がします。

充電式電池を長持ちさせるために、充電式電池は消耗しきってから充電してください。

ご注意

- の中の部分は残量のめやすを表わしています。1つが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、の中の部分が増減します。

充電式電池交換のめやす

充電後、常温で使える時間の半分くらいで電池がなくなってしまうときは、新しい充電式電池と交換してください。

充電式電池について

初めて充電するときや長期間使用しなかった場合は、充電しても通常の持続時間より短いことがあります。その場合はCHARGEランプが消えるまで充電をした後、充電式電池が消耗しきる（表示窓に「Lobatt」が出る）まで使用してください。これを何度か繰り返すと通常の状態に戻ります。

付属の充電スタンドについて

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池（NH-14WM (A)）以外は充電しないでください。
- 充電中は、本体や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

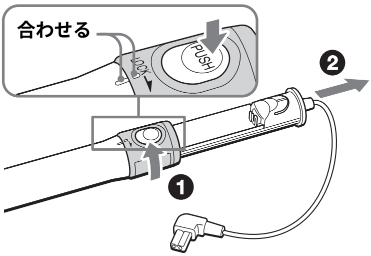
乾電池で使う

ACパワーアダプターをはずしてから、外付け乾電池ケースをつなぎます。

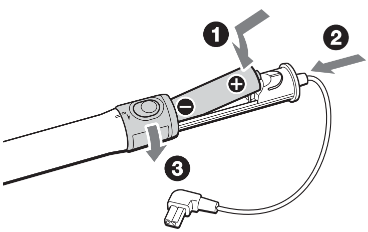
使用できる乾電池

単3形(LR6)アルカリ乾電池

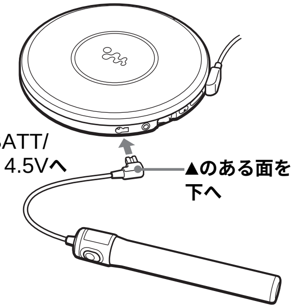
1 下の絵のようにPUSHボタンの下の線を合わせてから、PUSHボタンを押して乾電池入れを引き出す。



2 単3形(LR6)アルカリ乾電池2本を乾電池入れの⊕の表示に合わせて入れる。乾電池入れを押し込んで、LOCKを矢印方向へ回す。



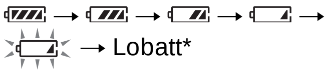
3 外付け乾電池ケースを本体につなぐ。



残量のめやすを確認する

表示窓で次のように表示が変わり、電池の残量のめやすを確認することができます。

「」表示が点滅すると電池が消耗しきっています。交換してください。



*「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、すべて新しいものに交換してください。

本体の電池と外付け乾電池ケースの中の電池とは同時に消耗します。

ご注意

- 外付け乾電池ケースをつなぐときは、ACパワーアダプターをはずしてください。
- 充電式電池と乾電池を合わせて使う場合は、充電式電池は充電し、乾電池は新しい電池をお使いください。

電源についてのご注意

本機を長期間使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

- 付属のACパワーアダプターをご使用ください。他のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ（JEITA規格）

- ACパワーアダプターは容易に手がとどくような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会のホームページhttp://www. baj.or.jp/を参照してください。

使用上のご注意

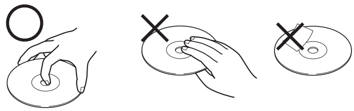
本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。

  CDに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所に置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

CDの取り扱いについて

- 演奏面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。



- 直射日光があたるところなど高温の場所や、炎天下で窓を閉め切った車の中に放置しないでください。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

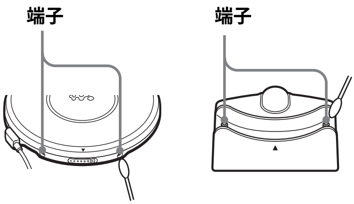
お手入れ

キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

充電用端子の汚れは

本体や充電スタンドの充電用端子が汚れていると、充電できなくなることがあります。定期的に図のように本体と充電スタンドの充電用端子を綿棒や柔らかい布などできれいにしてください。



故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因/処置
VOLつまみを+側に回し続けても（本体ではVOL+/–ボタンを押し続けても）音量が小さすぎる。	→ AVLSスイッチが「LIMIT」になっている。「NORM」にする。（32ページ） → LINE OUT (OPTICAL)ジャックにヘッドホンをつないでいる。🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぐ。（19ページ）
音量を調節できない。	→ LINE OUT (OPTICAL)ジャックにヘッドホンをつないでいる。🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぐ。（19ページ）
音が出ない、または雑音が聞こえる。	→ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。（19ページ） → ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。
ファイルが演奏されない。	→ 本機で再生可能なフォーマット以外のファイルを演奏しようとした。（12ページ）
乾電池使用時の演奏時間が短い。	→ マンガン乾電池を使用している。アルカリ乾電池を使う。（38ページ） → すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する。（38ページ）
充電式電池使用時の演奏時間が短い。	→ 何回か充電、放電（本体に入れ再生）を繰り返す。（35～37ページ）
「Lobatt」が表示される。演奏が始まらない。	→ 充電式電池が消耗している。充電式電池を充電する。（35ページ） → すべて新しい単3形（LR6）アルカリ乾電池と交換する。（38ページ）
「Hi dc in」が表示される。	→ 定格をを超えたACパワーアダプターを使用している。ACパワーアダプターは付属のもの、カーバッテリーコードは、「別売りアクセサリー」に記載されているものを使う。（46、47ページ）

症状	原因/処置
演奏が始まらない。または、CDを入れても「No disc」が表示される。	➔ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLD状態を解除する。（32ページ） ➔ CDが汚れている、または大きな傷がある。CDをクリーニングする。大きな傷がある場合は、CDを交換する。 ➔ CDのラベル面を上にして入れる。（19ページ） ➔ 結露している。CDを取り出して、そのまま数時間置く。 ➔ 電池ぶたをしっかり閉める。（35ページ） ➔ 充電式電池または乾電池を正しく入れる。（35、38ページ） ➔ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。（19ページ） ➔ ACパワーアダプターを接続してから1秒以上たってからジョグレバーを押す。 ➔ CD-R/RWに何も記録されていない。 ➔ CD-R/RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある。 ➔ 2つ以上の異なるフォーマットが書き込まれたCD-R/RWを使用している。
ボタンを押すと本体のCHARGEランプが点滅し、演奏が始まらない。	➔ HOLD状態になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLD状態を解除する。（32ページ）
本体のVOL+/–ボタンで音量を調節できない。	➔ 接続ケーブルをつないでいる。つないだ機器側で音量を調節する。(34ページ）
充電できない。	➔ 充電スタンドの充電用端子が汚れている。充電用端子を乾いた柔らかい布などで拭く。（41ページ） ➔ CDを演奏している。演奏を止める。 ➔ 外付け乾電池ケースをつないでいる。外付け乾電池ケースをはずして充電し直す。 ➔ 充電スタンドに正しく置いていない。本体の▼と充電スタンドの▲を合わせて置き、CHARGEランプが点灯するのを確認する。（35ページ）
止めたところから演奏が始まる。（リジューム機能）	➔ リジューム機能が働いている。1曲目から演奏を始めるには、停止中にジョグレバーを演奏が始まるまで押し続ける。または本体のふたを開ける。あるいはすべての電源をはずして、つなぎ直す。（19、20、35、38ページ）
CDのすれる音がする。	➔ 電池ぶたをしっかり閉める。（35ページ）
つないだステレオ機器で再生中に、音がひずんだり雑音が聞こえる。	➔ つないだ機器側で音量を調節する。(34ページ）

その他

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因/処置
ATRAC CDまたはMP3 CD の演奏中にCDが回転しないが、演奏は正常に聞こえる。	→ 本機はATRAC CDとMP3 CDの演奏中は電力消費を減らすためにCDの回転を止めるように設計されています。故障ではありません。
ジョグレバーを押したあとや本体のふたを閉めたときに「NO FILE」が表示される。	→ CDにATRAC3plus/ATRAC3/MP3ファイルが含まれていない。 → CD-RWに何も記録されていない。 → CDが汚れている。
本体のふたを閉めるとディスクが回転する。	→ ディスクの情報を読んでいます。故障ではありません。
液晶表示が見えにくい。表示の変わりかたがゆっくりになる。	→ 温度が高いところ(40°C以上）や低いところ（0°C以下）で使用している。常温になればもとに戻ります。
「✓」が速く点滅して、曲の頭出しやサーチができない。	→ ブックマークトラック演奏モードに入っている。P MODE/⟲を2回押して通常の演奏に戻す。
リモコンで正常な操作ができない。	→ 本体の操作ボタンが誤って押されたままになっている。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

型式
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

復号化（D/A）
1 bitクォーツ時間軸制御

周波数特性*
20 Hz ～ 20 000 Hz $^{+1}_{-2}$ dB

出力端子（電源電圧4.5 V時）
- ライン出力（ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　0.7 Vrms（47 kΩ）
  推奨負荷インピーダンス　10 kΩ以上
- ヘッドホン出力
  （ステレオミニジャック）1個
  最大出力レベル　5 mW+5 mW
  （JEITA/16 Ω）
  推奨負荷インピーダンス　16 Ω
- 光デジタル出力（光ミニジャック）1個
  最大出力レベル　–21 ～ –15 dBm
  発光波長　630 ～ 690 nm

＊ 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

電源
- 充電式ニッケル水素電池NH-14WM (A) 2本（付属）：DC 1.2 V × 2
- 単3形(LR6)アルカリ乾電池2本（別売り）：DC 1.5 V × 2
- 外部電源ジャック：定格DC 4.5 V ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100 V電源から使用可能

電池の持続時間*1
（水平に置き、振動のない状態で演奏した場合）
演奏時間は使用状況により異なります。

NH-14WM (A)2本使用時（約5時間充電*2）

	G-PROTECTION 設定「1」	設定「2」
オーディオCD	約35時間	約32時間
ATRAC3plusファイル*3	約55時間	約55時間
MP3ファイル*4	約50時間	約50時間

外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池2本*5）使用時

	G-PROTECTION 設定「1」	設定「2」
オーディオCD	約55時間	約50時間
ATRAC3plusファイル*3	約95時間	約95時間
MP3ファイル*4	約85時間	約85時間

NH-14WM (A) 2本+外付け乾電池ケース（アルカリ乾電池2本*5）使用時

	G-PROTECTION 設定「1」	設定「2」
オーディオCD	約90時間	約82時間
ATRAC3plusファイル*3	約150時間	約150時間
MP3ファイル*4	約135時間	約135時間

*1 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
*2 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
*3 48kbpsまたは64kbpsで記録されたCDの場合。
*4 128kbpsで記録されたCDの場合。
*5 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6 (SG)で測定。

動作温度
5°C～35°C

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約135.4×135.4×15.8 mm
突起部含まず、奥行きは傾斜部含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約135.4×135.7×16.9 mm

質量
本体：約179 g
約233 g（充電式電池を含む）（JEITA*）

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

＊ 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CEマークは、それが法的に強制されている国—主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国— でのみ有効です。

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー	SRS-Z1
ヘッドホン	MDR-EX71SL MDR-A35SL MDR-A105SP
充電式電池	NH-14WM
接続コード	RK-G129 RK-G136
カーバッテリーコード	DCC-E84 DCC-E245
カーコネクティングパック	CPA-8
カーバッテリーコード付きカーコネクティングパック	CPA-84U
光デジタルケーブル	POC-5B POC-10B POC-15B POC-5AB POC-10AB POC-15AB POC-20AP

海外でお使いになるときは

付属のACパワーアダプターは、国内にてAC100 V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけます。
本機を海外でお使いになるときは、使用する地域の電圧・電源コンセントの形状を確認のうえ、対応するACパワーアダプターをお使いください。
海外で使用できるACパワーアダプターを国内でお求めになる場合、多くの地域の電圧に対応する「AC-E45A」（AC100 V～240 V、50/60 Hzの範囲で使用可能）をおすすめいたします。
各国・各地域の電源コンセントの形状や電圧などの詳しい電源事情は、旅行代理店などでお確かめください。

Locating the controls

See the illustrations on pages 15 and 16.

1 18 Jog lever
⏵⏸ (play/pause/enter): Press to start play. Press again to pause play.
Also press to add Bookmarks and enter the tracks for PGM play.
⏮/⏭(AMS*[1]/search): Flick toward ⏮ or ⏭ once to find the beginning of the current/next track. Flick toward ⏮ or ⏭ repeatedly to find the beginning of the previous/succeeding tracks. Hold toward ⏮ or ⏭ to go backward/forward quickly. Also use to select tracks during PGM play.
*[1] Automatic Music Sensor

2 ■ (stop)/CHARGE button• CHARGE lamp
Press to stop play. Also press to start charging. The lamp flashes when the HOLD function is working, and lights up during charge.

3 VOL (volume) +/– buttons
Press to adjust the volume.

4 🎧 (headphones) jack
Connects to the earphones with remote control.

5 OPEN switch
Slide to open the CD player lid.

6 Terminals for the charging stand
Connects to the supplied charging stand.

7 AVLS*[2] switch
Set to "LIMIT" when you want to keep down the maximum volume to protect your hearing.
*[2] Automatic Volume Limiter System

8 G-PROTECTION switch
Set to "1" or "2" to prevent sound skipping.

9 Battery compartment
Insert the rechargeable batteries by matching the ⊕ to the diagram in the battery compartment. To charge the rechargeable batteries, connect the supplied charging stand.

10 EXT BATT (external battery)/ DC IN 4.5 V jack (external power intput jack)
Connects to the AC power adaptor. Also connects to the external battery case.

11 LINE OUT (OPTICAL) jack
Connects to the stereo system.

12 17 🗀 +/– buttons
Use to select a group. (for ATRAC3plus/ ATRAC3/MP3 files only)

13 20 HOLD switch
Locks the control on your CD player to prevent accidental button presses.

14 ■ (stop) button
Press to stop play.

15 VOL +/– control
Turn to adjust the volume.

16 Display
Displays the track number, remaining time/tracks (when playing an audio CD), the file number, file name, artist name, CODEC remaining time of the current file, group name (when playing an ATRAC CD/MP CD), elapsed playing time, battery status, and play mode and functions you selected.
Also displays CD text information (disc name, artist name, track name, etc.) when labeled on the CD.

19 Clip
You can remove it and change its direction.

21 DISPLAY button
Press to display the remaining time/ tracks.

22 SOUND button
Selects sound mode: SOUND 1 or SOUND 2.

23 P MODE/⮌ (play mode/repeat) button
Press and hold to turn on the repeat play mode.
Also selects various playback options: 1 (single), SHUF (shuffle), 🔖 (Bookmark) and PGM (program).

Troubleshooting

Should any problem persist after you have checked these symptoms, consult your nearest Sony dealer.

Symptom	Cause and/or corrective actions
The volume does not increase even if you turn VOL +/– in the + direction repeatedly (even if you press VOL + repeatedly on the CD player).	➔ Set the AVLS switch to “NORM.” ➔ The earphones are connected to the LINE OUT (OPTICAL) jack. Connect them to the 🎧 (headphones) jack.
Cannot adjust the volume.	➔ The earphones are connected to the LINE OUT (OPTICAL) jack. Connect them to the 🎧 (headphones) jack.
No sound, or noise is heard.	➔ Connect the headphones/earphones plugs firmly. ➔ Plugs are dirty. Clean the headphones/earphones plugs with a dry soft cloth periodically.
Cannot play a fail.	➔ You selected files recorded in a format other than that this CD player can play.
The playing time is too short when powered with the dry batteries.	➔ Check that you are using alkaline batteries and not manganese batteries. ➔ Replace the batteries with new LR6 (size AA) alkaline batteries.
The playing time is too short when powered with the rechargeable batteries.	➔ Charge and discharge the rechargeable batteries several times.
“Lobatt” appears in the display. The CD does not play.	➔ The rechargeable batteries are used up completely. Charge the batteries. ➔ The dry batteries are used up. Replace them with new LR6 (size AA) alkaline batteries.
“Hi dc in” appears in the display.	➔ An AC power adaptor which is rated higher than the one supplied or recommended is being used. Use only the supplied AC power adaptor or the car battery cord recommended in “Optional accessories.”

English

(Continued)

Troubleshooting

Symptom	Cause and/or corrective actions
The CD does not play, or "No disc" appears in the display when a CD is placed in the CD player.	→ The buttons are locked. Slide the HOLD switch back. → The CD is dirty or defective. → Check that the CD is inserted with the label side up. → Moisture condensation has occurred. Leave the CD player aside for several hours until the moisture evaporates. → Close the lid of the battery compartment firmly. → Make sure the batteries are inserted correctly. → Connect the AC power adaptor to an AC outlet securely. → Press the jog lever after one second or more has passed since the AC power adaptor was connected. → The CD-R/RW is blank. → There is a problem with the quality of the CD-R/RW, recording device, or application software. → Files in two or more formats have been recorded on the same CD-R/RW.
CHARGE lamp flashes on the CD player when you press a button, and the CD does not play.	→ The buttons are locked. Slide the HOLD switch back.
Cannot adjust the volume with VOL +/– on the CD player.	→ The CD player is connected to an audio device. Adjust the volume using the volume control on the connected device.
The rechargeable batteries cannot be charged.	→ The terminals on the charging stand are dirty. Wipe them with a dry soft cloth, etc. → The CD is playing. Stop play. → The external battery case is connected to the CD player. Remove it and start charging again. → The CD player is not placed securely on the charging stand. Place the player on the stand, aligning the ▼ mark on the player and the ▲ mark on the stand. Make sure that the CHARGE lamp lights up.
Playback starts from the point you stopped. (resume function)	→ The resume function is working. To start playing from the first track, hold down the jog lever during stop until the first track starts playing or open the lid of the CD player. Or, remove all power sources, then insert the batteries or connect the AC power adaptor again.
Rustling noise is heard from the CD.	→ Close the lid of the battery compartment firmly.
When using with a connected stereo system, the sound is distorted or noisy.	→ Adjust the volume of the connected device.

Symptom	Cause and/or corrective actions
During playback of an ATRAC CD or MP3 CD, the CD does not rotate but you can hear the sound normally.	➔ The CD player is designed to stop the rotation of an ATRAC CD or MP3 CD during playback to reduce the power consumption. The player is not malfunctioning.
“NO FILE” appears in the display after the jog lever is pressed or the lid of the CD player is closed.	➔ There are no ATRAC3plus/ATRAC3/MP3 files in the CD. ➔ A CD-RW from which the data has been erased is being used. ➔ The CD is dirty.
When closing the lid of the CD player, the CD starts to rotate.	➔ The CD player is reading the information on the CD. It is not malfunctioning.
The LCD display becomes hard to see or slow down.	➔ You are using your CD player at high temperatures (above 40°C) or at low temperatures (below 0°C). At room temperature, the display will return to its normal operating condition.
“ ” is flashing quickly in the display, and you cannot locate the beginning of the track or the specific point in the track.	➔ The CD player has entered the Bookmarked track play mode. Press P MODE/ twice so that the player returns to the normal play mode.
You cannot operate the CD player properly using the remote control.	➔ The buttons on the CD player are kept pressed by mistake.

English

お問合せ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境(別冊のSonicStage Simple Burnerの取扱説明書、35ページの項目)を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取り扱い方法、お買い物相談などのお問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX···················· 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00 土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Malaysia

3253604 03 (1)